

よき集団（チーム）とは ～よきリーダーとよきフォロワー～

2学期が始まって1週間が過ぎました。まだまだ残暑が続いていますが、日没の時間が早くなったり、朝晩が多少過ごしやすくなったりするなど、少しずつ季節が進んでいるのを感じます。

さて、弓削中でも運動会の練習が始まりました。2学期には運動会、修学旅行、文化祭など大きな行事が続きます。こうした行事の成功に欠かせないのが、集団（チーム）としての力ではないでしょうか。みなさんは学校生活の中でもいろいろな集団に所属していると思いますが、望ましい集団とはどんな集団だと思いますか？

ある旅人がヨーロッパの街を歩いていたところ、数人の男たちがレンガを積み上げているところに出合いました。つまらなさそうに作業をしているので、「あなたたちは何を作っているのですか。」と尋ねたところ、一人の男が「ご覧のとおりだ。レンガを積みと言われたから積んでいるだけだよ。」と答えました。別の街で今度はとても楽しそうにレンガを積み上げている男たちに出会いました。同じように尋ねると、「私たちはここに立派な教会を建てているのです。」と、元気な声が返ってきました。同じ作業をしても、目的が明確であれば、こんなに答えが違うのです。当然、作業効率も違うでしょう。

ある作業場では、一人のリーダーと数名の従業員から構成される、いくつかのグループに分かれて仕事をしていました。一つ目のグループでは、リーダーが偉そうな態度で命令するだけで、命令された従業員はうんざりしながら働いています。当然作業効率は上がりません。するとリーダーはいらついて、更に荒い言葉で命令します。別のグループでは、まずリーダーが率先して働き、後の部下もそれにつられて汗を流します。当然作業効率は上がります。すると目標に向けての道すじがはっきりし、その目標が支えとなって作業効率はもっと良くなります。

この二つの話は、どちらもリーダーのあり方によって集団としての成果が左右された例です。では、良いリーダーがいればその集団はいい結果が残せるのでしょうか。

「リーダー」に対してリーダー以外の集団を構成するメンバーを「フォロワー」と言います。米国のカーネギーメロン大学のロバート・ケリー教授の研究によると、リーダーを支える力、“フォロワーシップ”が組織に与える影響力は8～9割。残り1～2割がリーダーの影響力だそうです。フォロワーシップとは、フォロワーが、リーダーやチームのメンバーに対してチームで成果を上げるために自律的・主体的な働きかけをすることです。集団のメンバー一人一人が、リーダーの指示を待つだけの『受け身』ではなく、自ら考え、行動する『自発性』をもつ集団が、成果をあげる集団（チーム）だと言えるでしょう。

物を作り上げる。行事を成功させる。プロジェクトを完成させる。スポーツでチームが優勝したり、日本や世界で頂点に立つ。どれも高い目的や目標をもち、達成のために集団全員が取り組んだ成果です。

上級生も下級生もなく、それぞれが集団の共通の目的に向かって、ともに協力しながら頑張る、そんな学校をつくっていきましょう。



